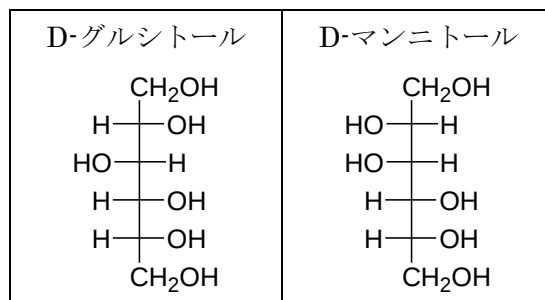
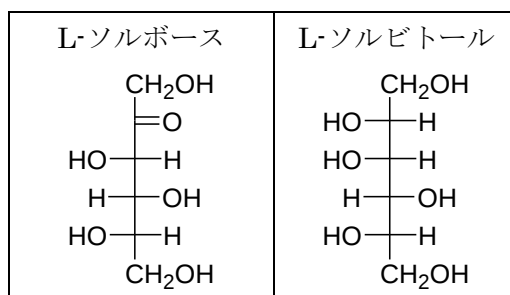


12.1.

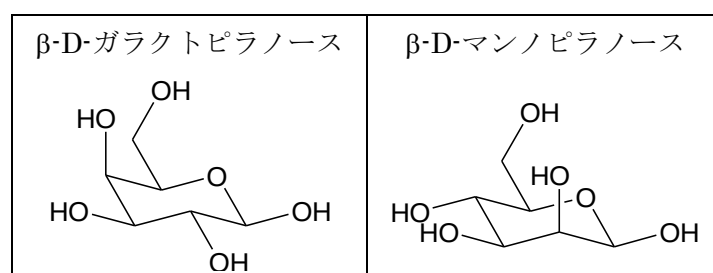


ナナカマド (Sorbus 属) に存在するケトヘキソースである L-ソルボースとその糖アルコールである L-ソルビトールを下に示す.

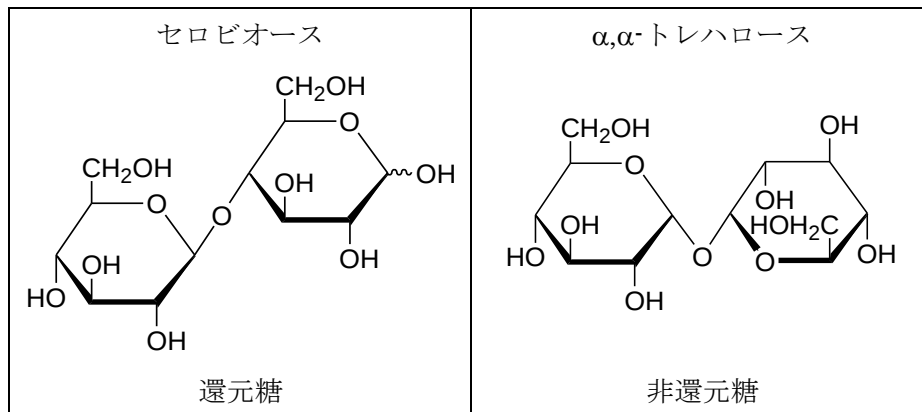


L-ソルビトールの構造を紙面上で 180° 回転すると, D-グルシトールの構造と一致する. そのため, D-グルシトールは L-ソルビトールとも呼ばれる.

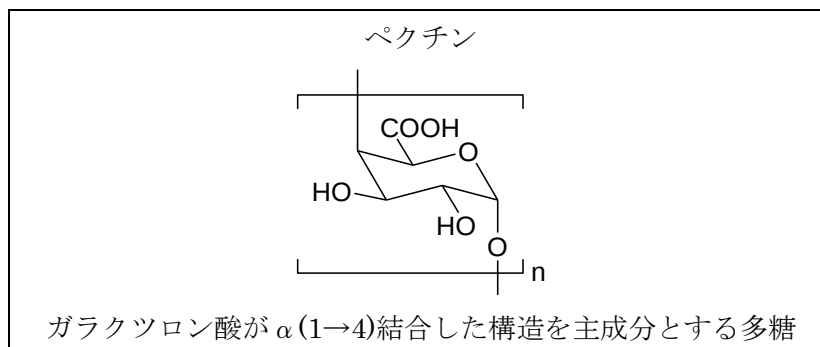
12.2.



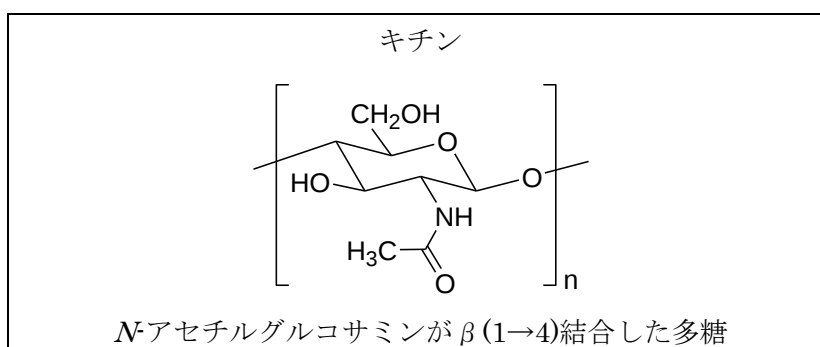
12.3.



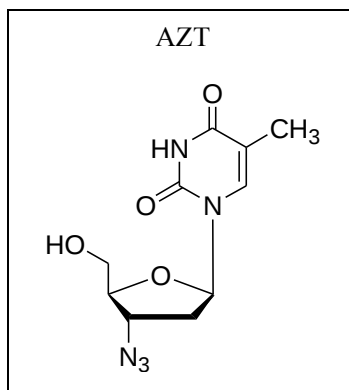
12.4



略解にある構造も正しい。 $\alpha(1\rightarrow4)$ 結合であることが分かりやすくするため、上の構造を示す。 下についても同様で、4位の立体配置が分かりやすい構造を示す。



12.5.

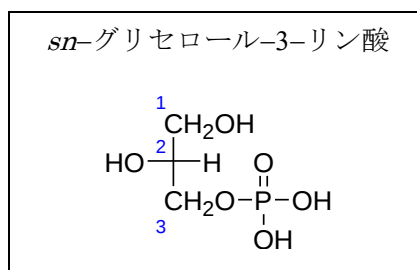


12.6.

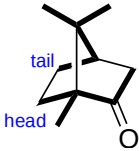
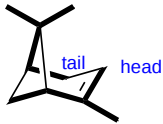
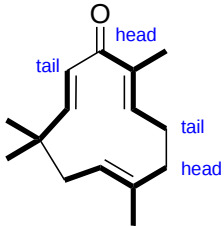
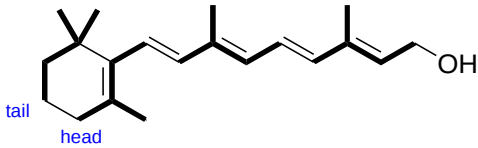
炭素数が同じであるので，融点は二重結合の数が増えると低下する．すなわち，下表の下に位置する脂肪酸ほど融点が低い．

脂肪酸	炭素数	二重結合	融点 (°C)
ステアリン酸	18	0	72
オレイン酸	18	1	16.3
リノール酸	18	2	−5
リノレン酸	18	3	−11.3

12.7.



12.8.

カンファー 	α-ピネン 
ゼルンボン 	ビタミン A 

12.9.

